

KGA

'04春季号

2004年5月1日発行



NO.85

目次

第56回 関東ゴルフ連盟通常総会	
健全なゴルフの発展に三つの重要施策1
話題の委員長と部会長に聞く	
時代の新しい波に対応する新構想4
ジュニア・ゴルフスクール探訪	
マナーは厳しく、プレーは楽しく8

総会・理事会・分科委員会議事録11
月例競技成績表27
お知らせ28
表紙Photo KGA春季ジュニア・ゴルフスクール (撮影・塙越克一/KGA広報委員)	

 関東ゴルフ連盟

総会

第56回 関東ゴルフ連盟通常総会

健全なゴルフの発展に三つの重要施策

—改革元年(昨年度)をさらに継続推進—

文・塙田 正 (KGA広報委員) 写真・塙越克一 (KGA広報委員)

関東ゴルフ連盟第56回通常総会は、平成16年2月20日(金)午前10時、ホテルニューオータニ麗の間に開催された。予定通り午前10時に議長団(吉田理事長、牛込、小宮山、普勝各副理事長)登壇、理事長挨拶、総会成立報告、議事録署名者(齋藤文志郎常務理事、井上裕之理事)を指名し、10時10分、第1号議案から審議にはいった。

■適切な競技運営と「J-sys」の普及

- 第1号議案は「平成15年度事業報告、ならびに一般会計、特別会計決算の承認を求める件」。事業報告は吉田友明理事長が行なったが、その要旨はつぎの通りである。

「事業報告をかねまして、今年度、及び今後の関東ゴルフ連盟の活動方針について抱負を述べたいと思います」

前置きしたあと、今年度の一般景気に言及、「ゆるやかな回復が見込まれる」としながらも、一方、ゴルフ界では「昨年度は、法的整理の多発、入場者数の低迷など厳しい状況が続き、新年度についても好転材料に乏しく、楽観は許されないものと認識しております」と新年度の見通しをこのように結論づけた。

そして、このような背景を踏まえ、関東ゴルフ連盟としては「昨年度は改革元年とも言うべき年度」と位置づけ、具体的には、加盟俱楽部の負担軽減のための年会費の実質的な減額、競技活性化のための競技参加料の減額、コース使用料の減額、諸経費の見直しなどを実施し、その結果「競技活性の指標とも言うべき競技参加者数が増加する一方、連盟収支につきましても、相応の計数を確保することができました」と改革の実績に



活動方針を述べる吉田理事長

ついで、このように総括し「今後の改革推進につきましても、一層の協力をお願いしたい」と結んだ。

さらに関東ゴルフ連盟の使命として、規約にも明記されているように「健全なゴルフの普及発展を図ることにあります。これが連盟活動の原点であります。この使命を踏まえて、幾つかの点を強調しておきたい」と述べ、つぎの三点について、あらまし以下のように活動の方針を説明した。

「第一は適正な競技運営であります。関東アマチュア選手権を始めとして、関東ゴルフ連盟が主催する競技に参加するのは、技量、マナーとも他の範となるべきゴルファーであります。それだけに競技運営につきましては、従来にもまして、競技者の立場に配慮した適正な運営をはかり、競技



総会の議長団。左から、小見山副理事長、吉田理事長、牛込、普勝両副理事長

の権威と、信頼度の更なる向上をはかりたい考えております。また、多数のゴルファーの参加を奨励して、競技を盛り上げることにも留意し、加盟俱楽部の活性化につなげたい」と適正な競技の運営方針を打ち出した。

「第二はJGAハンディキャップ制度の普及であります。ハンディキャップがゴルフの実力を正しく表し、ゴルファーの向上心を刺激する機能を持つことはいうまでもありません。トップアマだけでなく、アベレージゴルファーの活性化のためにも、ハンディキャップを取得するよう勧奨し、「J-sys」の活用をさらに進めたいと思います。加盟俱楽部におかれましても、この点についてご留意、ご協力をお願いする次第であります」

と「J-sys」の普及的重要性を強調し、さらに女子ハンディキャップについてもつぎのように言及している。

「平成17年度から公式競技適用となります女子ハンディキャップにつきましても、システム対応をはかるべく準備中であります。また財日本ゴルフ協会は「J-sys」を基本とするハンディキャップ算定システムを全国展開する意向を示しておりますが、関東ゴルフ連盟としても積極的に協力したいと考えております」

と女子ハンディキャップの普及推進に積極的な意欲を示した。

◆ジュニア育成が最重要課題

第三はジュニアゴルファーの育成である。

吉田理事長は「ゴルフの活性化を長期的な展望に立って考えますと、ジュニアゴルファーの育成が、最重要課題の一つであることは申すまでもありません」という前提に立って「JGAを始めとする各団体の連合により『日本ジュニアゴルファー育成協議会』が結成され、各種の活動を展開しておりますが、関東ゴルフ連盟といたしましても、底辺拡大と上級者のレベルアップのため、スクールの開催や競技実施について、これをさらに充実していきたい」と従来のジュニア育成方針をいつそう強く推進する意向を示した。

と同時に「加盟俱楽部におかれましても、ジュニアがゴルフに触れる機会を増やすべく、コースの一部開放など、地域ごとの振興策について積極的に関与し、ご協力して頂くようお願いします」と強く要請した。

そして最後の締めくくりとして「各都県におけるアマチュアゴルフ団体（いわゆる体協）の活動が年々盛んになってきております。ただ『正しいゴルフ』がなされているかどうか、いささか疑問があります。ゴルフに『JGAゴルフ』『体協ゴルフ』の区別があつてはなりません。久しくJGA、KGAはゴルフの総本山として、健全なゴルフの普及發

展に努めてまいりました。体協サイドとしてもJGA、KGAに指導、援助を求めてきております。今後は連携をとり、ともにアマチュアゴルフ界の発展に寄与する必要があります」とゴルフ界全体を視野に入れた運営方針を打ち出し、事業報告および活動方針を締めくくった。

このあと、議長の指示により事務局より一般・特別両会計の決算報告の後、近藤監事の監査報告がなされ、原案通り承認された。

●第2号議案は「平成16年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件」
普勝副理事長より予算編成の基本方針が示され、併せて今年度は競技開催時の委員配置を昨年よりも若干増員すること、および女子ハンディキャップのシステム整備をはかることにつき、予算対応している旨の報告があった。ついで事務局より一般・特別両会計の予算案につき報告がなされ、原案通り承認された。

●第3号議案は理事補選の件。

議長の指示により、事務局から「千葉県、神奈川県、静岡県に各1名の理事の欠員が生じているので、連盟規約第14条、第15条、および細則に則り、理事の補選を願いたい」と提案があった。つぎの2名が両県から候補者とし選任届出されている旨の報告がなされ、審議の結果、承認された。なお千葉県からは届出がなされなかったため、欠

員のままとされた。

神奈川県 田土部勝昭氏

静岡県 佐藤研三氏

●報告事項

「財日本ゴルフ協会平成15年度事業報告および決算報告、ならびに平成16年度事業計画および予算に関する件」は議長の指示により、事務局より報告を行ない承認された。

なお、平成16年度事業計画および予算は、平成15年12月10日の財日本ゴルフ協会理事会において決定し、加盟俱楽部に送付済みであり、平成15年度事業報告、および決算報告については、来る2月23日（2月20日現在）に開催される財日本ゴルフ協会理事会終了後に送付される予定であることも報告された。

●その他

つぎの質問と要請がなされ、③については各分科委員長より「現状認識」「将来展望」につき、報告があった。

①KGA規約の件

②ジュニア育成の件

③KGA各分科委員長から委員会活動の報告

以上で総会の議事を終了、議長よりご逝去された故菅浦一氏に哀悼の意を表明された後、退任された吉岡文平、西原暉の両氏に謝辞が述べられ、11時35分閉会を宣言した。



議案を審議する総会の模様

話題の委員長と部会長聞く 時代の新しい波に対応する新構想

規則部会、ハンディキャップ委員会・ジュニア委員会の新時代への方向づけ

インタビュー／塩田 正(KGA広報委員)

規則部会長聞く

ルールの前にエチケット

野口正三規則部会長



野口正三規則部会長

——野口部会長としては、一番関心があるのは、ルール改正の件ですか。

野口 そうですね。ことしは4年目ごとの見直しの年に当たり、いくつかの改正がありました。

——やはり最大のものはエチケットの件ですか。
野口 ルールブックには規則の前にエチケットが書かれているように、エチケットなくしてゴルフはないといえます。今回の改正でエチケットがルールの中に取り入れられ、委員会はエチケット違反に対する罰を課すことができるようになりました。——これが大きな改正のポイントですね。

——エチケット違反にはどんな罰が……。

野口 違反を繰り返したときなどは、失格ということもありますし、もっとひどい違反の度重なる行為には、出場停止などの重罰もあります。

——こうしたエチケット違反にペナルティを課すという背景として何が考えられますか。

野口もちろん日本だけじゃなくて、世界的にエチケットの乱れというものがクローズアップされてきたのは事実だと思います。

——例えばどんな点でしょうか。

野口 こんどのルールブックには、他人への思いやりが明文化されているのも特徴といえば特徴で

す。具体的にいえば、近くや前方にいる作業員に危険な思いをさせる可能性があるときは、打つ前にその人々たちに注意するように声をかけるとか、打った球が誰かに当たる危険性があるときは、プレーヤーはすぐに大声で危険を知らせるべきであり、「フォアー！」という掛け声をかけるなどと明記されています。安全の確認、他人への思いやりを重視しています。

——長い競技委員生活で、あの選手の行為はいまなら失格——という事例はありましたか。

野口 失格にするかどうかは別ですが、昔関東オープンで某選手がティショットをミスしたのに腹を立て、ティインググラウンドにクラブを打ちつけたことがあります。大勢のギャラリーの目の前ですよ。ティインググラウンドを傷つけたというよりも、ゴルファーにあるまじき態度だと思いました。これなど常識以前の問題で、改正後の今年であったら、委員会は明らかの罰を課しても当然だったと思います。

——エチケット違反へのペナルティが、時代を反映するものというのは万人の認めるところだと思いますが、同様に時代的特質と見られるほかの改正点はありますか。

野口 やはりクラブの長さやヘッドの大きさ、それにティについての規制が盛り込まれた点でしょうね。ヘッドの大きさは470立方cm以内、クラブヘッドのヒールからトウまでの長さ127^{1/2}以下、ソールからクラウンまでの長さ71.12^{1/2}以下という具合にはっきりと提示されています。さらにシャフトの長さはバターを除いて、48^{1/2}を越えてはならないというふうになっています。

そのほかにはティの長さを101.6^{1/2}以下に定めた

り、球がすっぽりはいるお椀型のティ、あるいはブラッシュ型で、羽の中に球が沈みこむようなティは異常な器具として認められなくなりました。——いずれも打球が飛びすぎる傾向への対策として見ていいのでしょうか。

野口 そう考えて間違いではないでしょうね。

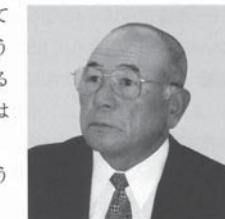
——プロやトップアマに対する“飛びすぎ規制”という点では、こうした用具上のルール採用も仕方がないところですが、一般的ゴルファーは、飛びを最大の喜びとしている人が多いと思いますが……。

野口 うん、年配の人が、「あそこで200ヤード飛んだぞ」などと得意そうに話をしているのは、ほんとうに微笑ましいと思います。そういう点では、体力の衰えをクラブで補って楽しんでいる大勢の熟年ゴルファーにとってつらいものがありますね。

——最後にルールというものは、なかなか覚えられない、覚えようと思ってもついそのままになってしまふという人が多いと思います。ルールがやさしく身につくという秘法は何かありませんか。

野口 難かしい問題ですね。ただいえることは、ルールブックを第一条から順に読むだけでは、これはダメです。やはり、疑問をもったり、あるいは実際にどうしたらいいかという場面に自分やほかのプレーヤーが遭遇したときには、こまめにルールブックを開くことでしょうね。これを何べんも繰り返しているうちに自然に頭にはいっていく。暗記しようと思っても絶対に覚えられません。自分でルールブックを開いて解決したり、何かあった時にはすぐに見る習慣をつけて「ゴルフ規則」をつねに身近に置いておいて、親しむということがルールを覚えるもっとよい方法ではないでしょうか。

——どうもありがとうございました。



話しを聞く塩田広報委員

ハンディキャップ委員長聞く

時代に即応した

ハンディキャップ規定の改正

富田浩安委員長



——富田委員長は、こし行なわれたKGA総会の席上「ハンディキャップ制度のベースとなるシステムの整備が急務」とおっしゃっていましたが……。

富田浩安委員長

富田 平成10年から“G-sys”という名称でKGAがハンディキャップ査定システムを導入いたしました。加盟俱楽部の半数くらいが、このシステムを採用しています。それが一昨年から財日本ゴルフ協会（JGA）のもとで全国展開することになり名称も“J-sys”と変わってシステムを引き継いだ形になっています。いってみれば結果的にKGAでテストを重ねてきたことになり、いよいよ“J-sys”で本格的なハンディキャップ査定システムを推進しようというのが現状だろうと思います。

——今回の改正による新規定は平成17年1月からの実施と伺っておりますが具体的に改正の要点はどんなところなんでしょうか。

富田 従来は20枚中のベストディファレンシャルカード10枚をもってハンディキャップを査定していましたが、来年から10枚中の5枚をもってディファレンシャルカードとし、暫定ハンディキャップをなくすということになりました。

——20枚から10枚にした理由は……。

富田 年間に一般のゴルファーがプレーする平均の回数を7、8ラウンドとしたのが基本になっていました。となると20枚ためるには3年もかかるでしょう。これは現実的ではないということから20枚を10枚に減らしたわけです。もちろん、一般ゴルファーの1年間の平均ラウンド数だけの問題ではなく、民間のプライベートハンディキャップが

様々な形で普及していくなど、一般的のプレーヤーを取巻く環境が変化したことなども一因だと思います。

——そのほかにも改正のポイントを挙げて頂くと……。

富田 採用の枚数を減らしたことと関連して、スコアカードの有効期限を従来の3年から2年にしたことも改正点の一つですね。20枚で3年の有効期限が、10枚で2年となったわけです。

さらにハンディキャップの数値を小数点以下第1位までにするというのもあります。従来のハンディキャップは、整数で小数点以下はついていなかったのですが、改正では小数点以下第2位を四捨五入して、第1位まで現わすことにしています。これも現実的な対応といえるのではないかのでしょうか。

——かなり思い切った改正といえますね。

富田 やはり、まだあります。それはハンディキャップの上限です。これまでハンディキャップの上限は40まででしたが、改正では50.0が上限になります。40から50に上限を改正した背景には、初めてハンディキャップを取得するプレーヤーの意欲を向上させるという狙いがあります。つまり、ビギナーの方でも競技会に参加させて、技術向上の意欲をいっそう喚起しようというわけです。

そして最後はすべてのスコアカードを提出するという一項です。ですから各俱楽部の競技会はもちろん、普通のラウンドでもスコアカードをきちんと提出するというのが骨子です。そしてハンディキャップの公正を期す意味から、故意にスコアカードを提出しないことが判明した場合、ハンディキャップが失効することを明記しています。

——かなり大幅な見直しですが、その目的はどんな点にあるのでしょうか。

富田 JGAのハンディキャップ規定は昭和53年に制定され、これまでに6回の一部改正が実施されてきました。ところが前にも述べましたように昨今は一般プレーヤーを取巻く環境が変化してきています。JGAとしては①JGAハンディキャップを

すべてのゴルファーにとって取得しやすいものとして、さらに普及させる。②公正かつ均衡のとれたJGAハンディキャップを普及させる——これを2大目標に大幅な見直しを行なったとしています。もちろん、こうした大改革を行なうにあたっては、KGAが行なってきた“G-sys”的データが大きな“財産”になっています。これからはJ-sysが全国の統一基準となるように、俱楽部メンバーはもとより、ノンクラブメンバーにも働きかけていくという時期にはいっていくものと大いに期待しています。

ジュニア育成委員長に聞く

一枚岩の10団体が 推進するジュニア育成協議会

大鷲俊朗委員長



大鷲俊朗委員長

——まず最初から核心に触れて参りますが、ジュニア育成委員長としては、どんな点を重点的に育成していくこうというおつもりですか。

大鷲 技術も重要なテーマですが、それよりもスポーツとしてのゴルフを楽しむ前提として、エチケットを守ることの大切さを徹底的に教える方針をとっています。子供は正しく教えると、ちゃんとやってくれますから。そういう点では教え甲斐があります。

——大鷲さんは子供たちから「タオルおじさん」といわれているそうですね。

大鷲 ええ、そうなんですよ。僕は子供たちには、口をすっぽりして、洗面台を使ったら忘れずに使ったタオルできれいに拭いておきなさいといっているんです。それで僕の顔を見ると「あっ、タオルおじさん」と。(笑い)

——なぜ洗面台を拭くことなんですか。

大鷲 他人に迷惑をかけないという点では、ゴルフには守るべきエチケットがいっぱいあると思いますが、しかし、いちばんわかりやすいのが洗面台をきれいにすることだと思うんです。自分が手や顔を洗うときに、洗面台がびしょびしょだったり汚れていたのでは気持が悪い。次に使う人が気持よく使えるようにする——そのため拭いておく——この考えが浸透すれば、ここから発して他人に迷惑をかけない“思想”は必ず身につくと思うんです。

——実行していますか。

大鷲 ジュニア育成の協力をお願いしているある高名なゴルフ俱楽部のロッカーのおじさんが感心していました。「こんな小さい子が、使った洗面台をきれいにしているんですよ」と……。

——「ゴルファーである前に人間であれ」という考え方の象徴的な教え方ですね。

大鷲 まあ、せっかくついたニックネームですから、当分、タオルおじさんは続けたいと思っております。

——現在、ジュニア会員の現状はどうなっていますか。

大鷲 パブル期には9,000人近く会員(JGAジュニア会員)がいましたが、それが一時期4,000人台に減り、いまようやく7,300人までもち直してきたといったところです。

——そのもち直した要因は、どんなところにあるのでしょうか。

大鷲 プレー・フリーが安くなったりと、ゴルフ場がジュニアに理解を示すところが増えてきたこの二つじゃないでしょうか。例えば高ゴ連(高等学校ゴルフ連盟)に加入しているプレーヤーのうち、3割は親がゴルフをしていないという結果が出ています。昔は親がゴルフをしていて、比較的恵まれた家庭の子女が多く、親が費用を出してくれた。ところがいまのジュニアは純然たるスポーツとしてゴルフをとらえているんです。安いことが何よりなんです。

——最近はどこでも安くプレーできるんですか。

大鷲 いいえ、まだそこまではいっていません。そんな意味でジュニアが安くできる環境にご理解を頂きたいとお願いしているところなんです。例えば土・日曜日の最後の一組だけでいいから空けて頂いて、そこにジュニアが特別料金でプレーできるようにしてもらえば……これをぜひお願いしたいと思います。

——5年前に日本ジュニアゴルファー育成協議会が発足しましたが、その基本構想とは何ですか。

大鷲 日本のゴルフ界10団体によって構成されていますが、この10団体が一枚岩になって、ジュニアを育てようと発足したものです。KGA育成委員会でも、子供たちが楽しくゴルフができるよう、技術以前に他人に迷惑をかけない——をモットーとしておりますが、この育成協議会も、子供達がゴルフを楽しく体験できる環境をつくり、ゴルフを通して社会のルールを指導し、自己責任や他人への思いやりを育むことを目的にしています。

——具体的にはどんなふうに展開するんですか。

大鷲 二つの方策があります。一つはジュニアゴルファーズプラザの活動です。育成協議会に指定されたプラザ(練習場、ゴルフ場=練習場併設)は子供達に楽しい環境を提供するとともに育成協議会の指導、アドバイスのもと、ジュニア育成チームを編成し、スケジュールやカリキュラムを整えて、育成活動を行ないます。

そしてもう一つはゴルフライフコンダクター認定制度です。ジュニア育成活動にボランティアで協力して頂ける人をつくるための認定制度です。認定された人は子供達への環境づくりや精神面の指導、スケジュール、カリキュラムの作成、管理を行ないます。

——タオルおじさんのような活動家がいなければいけませんね。

大鷲 洗面所のタオルは、自己責任において、ボールマークの修復、パンカーならし、目土の励行などのジュニアゴルフのマナーに通じます。今後とも、より多くの先輩ゴルファーのご協力を切にお願い申し上げます。

〈ジュニア・ゴルフスクール探訪〉

マナーは厳しく、*

プレーは楽しく

千葉カントリークラブ川間コースに未来の模範ゴルファーを発掘

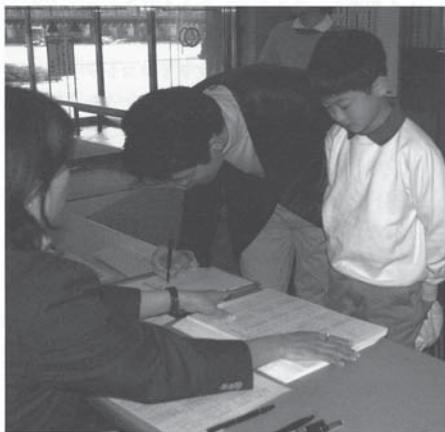
文・山田和臣 (KGA広報委員) 写真・塙越克一 (KGA広報委員)

桜が咲き始めると同時に、恒例のKGA春季ジュニア・ゴルフスクールが3月22日の我孫子ゴルフ俱楽部を筆頭に、セントラルゴルフクラブ、茨城ゴルフ俱楽部、鷹之台カンツリー俱楽部、ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場、千葉カントリークラブ川間コース、富士カントリークラブの7会場で開催された。

※新芽と共にジュニア親子教室

今年の親子ゴルフスクール（子供もレッスンに同行して親もプレーするので「親子スクール」と名

付けている。）は3月30日に千葉カントリークラブ川間コースにおいて、親子116名の参加のもと、指導者プロ男子は三浦勝利プロを初め10名、女子プロ3名、KGAジュニア育成委員会委員9名の指導により始まる。開校式においてKGAジュニア育成委員会副委員長藤園賢雄氏より「指導者プロは文部科学省認定プロであり、学校の先生と同資格者です。技術面をしっかりと教わるよう」と挨拶がありゴルフスクールの開校を迎えた。例年に比べ高校生の姿が少くなり、逆に中学生、小学生、初級者クラスが多くなったのは、ジュニアゴルファーの底辺拡大に結びつくことで大歓迎とい



お父さんと一緒に受付でサイン（千葉CC・川間）



スタート前に注意を聞くジュニアと親権者（千葉CC・川間）



広々とした練習場でプロの厳しい指導が…（鷹之台CC会場）

ったところだ。早速打球練習場では、プロによる手とり足とりのレッスンが始まる。

※ゴルフ全体を楽しむ心

自分がゴルフで得た幸せを、子供にも味わせたいと思う親権者（父親、母親、祖父母）との一体感のゴルフスクールはどんな実を結ぶのか。

川間コースは27ホール（南コース、東コース、西コース）あり、8時30分頃から巣立ちへのスター

トが始まった。子供達より親達の方が緊張ぎみである。

子供と親権者12名が3組に分かれ、そこにプロとジュニア育成委員がついて、ラウンドレッスンを行なう。ジュニア・ゴルフスクールの重要目標は、挨拶の励行とルールを学ぼうなどであり、模範となるアマチュアの育成にある。親と共に教わるエチケット、マナー、そしてすべてが自己責任につながるゴルフでは、親子の絆を確かめるため



ワンストロークに精神集中（千葉CC・川間）



プロの指導に耳を傾ける（千葉CC・川間）



真剣な目でボールを追う（千葉CC・川間）

総会・理事会・分科委員会



スタート前にお父さんとクラブのチェック（千葉CC・川間）



同伴競技者のショットを静かに見守る（千葉CC・川間）

にもよい機会といえる。ラウンドレッスンに入ると、プロがバランスの大切さを懇切丁寧に教えている。

遊び感覚で球を打つ楽しみを覚え、次に自分でやってみたいという気持ちが生まれ、やってみると楽しくておもしろい。こんな気持ちになるまで導いてやるのが指導者の役割だ。実際のラウンドでは、親から子供への助言は一切ない。技術指導はプロのみであり、子供たちはプロの指導をそのままに一生懸命勉強する。

今年の親達は、ゴルフに関してはいっさいプロ任せであり、また、ふだんの練習でも、練習場のレッスンプロにお願いしているとの答えが返ってくる。そして親子が喜々としてディポットホールの修正や、目土をしていく姿はほんとうに微笑ましい。他人を気遣う心の大切さを学び、共通の話題が興ずる喜びを十分に味わった一日であった。「有意義です」と語ってくれたハンディ4の父親もいたし、このスクールを口こみやインターネットで知り、申し込んだという人々も数多くいた。実績というもの力を改めて感じさせられた。「スウィングがよくなかったね」の声があちこちから聞こえてくる。小学生に「楽しいですか」と尋ねると「楽しい。でも疲れた」と素直に答えてくれた。早くラウンドレッスンの終わった子供たちは、打球練習、バター練習に余念がなく、1時間以上も練習する姿がある。さすがは自分から始め

たゴルフであり、楽しみ方がわかっている。全員がラウンドレッスンを終える3時40分頃から雨がボツボツと落ちてきたが、十分に楽しめた様子が、顔、顔、顔にはっきりと現れている。

閉会式では三浦勝利プロが代表して「マナーは厳しく、プレーは楽しく」との挨拶があった。勉強でも運動でも自分から目覚めなければ進歩も発展もない。相手を気遣い、ゴルフ場の美に気づく柔軟な視野をもったゴルファーに育つように願う一日であった。



プレーヤーの邪魔にならない所でライン調べ（茨城GC会場）

第56回 通常総会議事録

日 時 平成16年2月20日（金）

午前10時

場 所 ホテルニューオータニ 麗の間

定刻吉田理事長議長席につき、加盟498俱楽部（除く準会員）中、委任状を含め323俱楽部の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、斎藤文志郎常務理事、井上裕之理事を指名し、開会を宣した。次いで平成15年度事業報告、および今年度重点方針が示された。

具体的には
平成15年度に関して、
収入面でKGA年会費の実質的な減額（3年間の限られた措置の初年度として、年会費の25%相当額を振興協力金として還元）と、競技者の負担を軽減し、競技人口の増大をはかるための競技参加料の減額を実施し、支出面では、コース使用料の減額や諸経費の見直しなどを実施した結果、競技参加者数の増加と、相応の収支計数を確保し得たことにつき、関係各位に対し、感謝の意が表された。

今年度については、
(1)適正な競技運営による競技の権威と信頼度の向上
(2)JGAハンディキャップ制度の普及
(3)ジュニアゴルファーの育成
(4)JGA、KGA、体協の連携によるアマチュアゴルフ界の発展の諸点を中心として活動する旨の所信表明の後、上程議案審議を行った。

—決議事項—

第1号議案

「平成15年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件」

議長の指示により、事務局より一般・特別両会計の決算報告の後、近藤監事の監査報告がなされ、原案どおり承認された。

第2号議案

「平成16年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件」

普勝副理事長より、予算編成の基本方針が示され、併せて、今年度は、競技開催時の委員配置を昨年より若干増員すること、及び、女子ハンディキャップのシステム整備をかかることにつき、予算対応をしている旨の報告があった。次いで事務局より一般・特別両会計の予算案につき報告がなされ、原案どおり承認された。

第3号議案

「理事補選の件」

議長の指示により、事務局より、千葉県、神奈川県、静岡県に各1名の理事の欠員が生じているので、連盟規約第14条、第15条、及び細則に則り、理事の補選を願いたきこと、ついては、次記の2名が両県より候補者として選任届出されている旨の報告がなされ、審議の結果、異議なく承認された。なお、千葉県からは届

出がなされなかつた為、欠員のままとした。

神奈川県 田土部勝昭氏
静岡県 佐藤研三氏

報告事項

「財日本ゴルフ協会平成15年度事業報告、および決算報告、ならびに平成16年度事業計画、および予算に関する件」

議長の指示により、事務局より次記報告を行い承認された。

「平成16年度事業計画および予算は、平成15年12月10日の財日本ゴルフ協会理事会において決定し、加盟俱楽部に送付済みである。平成15年度事業報告、および決算報告については、来る2月26日に開催される財日本ゴルフ協会理事会終了後に送付される予定である。」

その他

次の質問と要請がなされ、③については、各分科委員長より「現状認識」「将来展望」につき、報告があつた。

- ①KGA規約の件
- ②ジュニア育成の件
- ③KGA各分科委員長からの委員会活動の報告

以上をもって、総会の議事を終了、議長より、ご逝去なされた故菅浦一氏に哀悼の意を表明された後、退任された吉岡文平、西原 岄の両氏に謝辞が述べられ、11時35分閉会を宣した。

総会・理事会・分科委員会

総会・理事会・分科委員会

平成16年2月20日

議事録確認署名者

議長 吉田 友明 (印)

署名者 斎藤文志郎 (印)

署名者 井上 裕之 (印)

平成15年度 第3回 常務理事会議事録

日 時 平成15年11月13日 (木) 正午
場 所 関東ゴルフ連盟会議室
出席者 吉田理事長、牛込、小宮山、
勝普各副理事長
斎藤、篠崎、高橋、田中、塚
原、南学、野口、萩原、広中、
渡邊各常務理事

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣し、議事録署名者として田中經策、塚原裕両常務理事を指名した。

—討議及び決議事項—

①委員会報告及び提案

下記の報告及び提案がなされ、慎重審議の結果、それぞれ承認された。

(1)競技委員会

上記委員会担当牛込副理事長より

①平成16年度競技日程

(アンダーハンディキャップ競技、月例競技は別途告知する。)

●16年度コース選定について
コース選定部会にて条件を出して、委員会主導で選定した。

条件は、コースの整備状態および協力体制、練習場、交通

の便等。

●予選ブロックの増設

関東アマ、関東ミッドアマの予選ブロックを参加者増に対応して、各1ブロック宛増設する。

②俱楽部対抗競技開催方式

●予選、決勝とも開催方式を統一する。

●1チーム当たりの選手数と成績カウントは、引き続きいわゆる6/6方式とする。

●1ブロックの参加俱楽部数は原則として30俱楽部を上限とする。

●決勝進出俱楽部数は平成15年度と同様に8俱楽部につき1俱楽部の比率とする。

その結果、決勝進出俱楽部数が多くなった場合、スタート時間の繰り上げ等により調整する。

(2)ハンディキャップ委員会

上記委員会担当牛込副理事長より
財日本ゴルフ協会ハンディキャップ委員会に於いて、

①女子ハンディキャップに関する「J-sys」の対応

②JGAハンディキャップ規定の改定

につき審議されている。関東ゴルフ連盟としては、財日本ゴルフ協会での審議進展を踏まえて対応したい。

(3)コース・レート委員会

上記委員会担当大原常務理事欠席のため、事務局より

①平成17年度より女子コース・レートが正式導入されるので関東ゴルフ連盟としては次の3段階方式で査定を行いたい。
①参考値(仮称)
②暫定レート
③正式レート

②コース・レーティング一覧表の作成

平成15年度は作成しなかったが、紙ベースのニーズが強いので復活させたい。

(4)広報委員会

上記委員会担当高橋常務理事より
①9月より懸案となっていたホームページを開設した。

競技スケジュール、競技成績等シンプルな内容でスタートし、漸次、内容を充実させたい。

②「KGAニュース」の発行を年4回から3回に変更する。

ホームページの開設など広報手段も多様化するので、「KGAニュース」については、競技結果の掲載だけでなく、特定の切り口での分析、コラムなどにより特化して行きたい。

②平成15年度一般会計・特別会計決算案、ならびに平成16年度一般会計・特別会計予算案に関する件

事務局より資料に基づき詳細に説明を行い、慎重審議の結果、両案とも承認された。

③JGA個人会員入会審査の件

事務局より、11月13日現在、入会申

請のあった84名について、これを承認し、財日本ゴルフ協会に名簿を提出したい旨報告し、承認された。

全議事終了後、吉田理事長13時40分閉会を宣した。

た。議長より、議事録署名者として岩宮浩常務理事、伊藤淳理事を指名した。

—討議及び決議事項—

①委員会報告及び提案

下記の報告及び提案がなされ、慎重審議の結果、それぞれ承認された。

(1)競技委員会

上記委員会担当牛込副理事長より
①平成16年度競技日程
(アンダーハンディキャップ競技と月例競技については別途告知)

●16年度のコース選定について
関東ゴルフ連盟より条件(コースの整備状態および協力体制、練習場、交通の便)を出して東日本ゴルフ場支配人会の協力も得て、委員会主導で選定した。

●予選ブロックの増設

関東アマ、関東ミッドアマの予選ブロックを、参加者数の増加に対応して各1ブロック増設する。

②俱楽部対抗競技開催方式

●競技方法については予選、決勝とも同一方式とする。

●1チーム当たりの選手数と成績カウントは、引き続きいわゆる6/6方式とする。

●1ブロックの参加俱楽部数は、原則として30俱楽部を上限とする。

●決勝進出俱楽部数は、8俱楽部につき1俱楽部と前年度方

式を踏襲する。

●予選、決勝とも参加俱楽部が多くなった場合には、スタート時間の繰り上げなどにより対応する。

③その他競技

関東アマ等個人競技参加申込は、所属俱楽部を通し申込みを受けている。現段階では、予選会場は選べず、俱楽部所在都県(所在都県に会場がない場合は近隣の都県)での会場となる。競技者の希望する会場で出場をしたい旨の希望があり、現在事務局で検討中である。

(2)ハンディキャップ委員会
上記委員会担当牛込副理事長より
財日本ゴルフ協会ハンディキャップ委員会に於いて、JGAハンディキャップ規定の改定等審議されているが、結論は出ていない。

関東ゴルフ連盟主導で「J-sys」がスタートした経緯もある為、財日本ゴルフ協会の決定を待って対応したい。

(3)コース・レート委員会
上記委員会担当大原常務理事より
●コース・レーティング一覧表の作成

15年度は作成しなかったが(ホームページでの確認が可能)、紙ベースでのニーズが強いので、16年度は作成することとする。

(4)広報委員会
上記委員会担当高橋常務理事より
①9月より懸案となっていたホームページを開設した。

総会・理事会・分科委員会

総会・理事会・分科委員会

競技成績、競技スケジュール、加盟俱乐部紹介等シンプルな形でスタートした。今後、内容を充実したい。リクエストは1,570件／日あり、出足は好調である。

②「KGAニュース」の発行を年4回から3回に変更する。

ホームページの開設など広報手段の多様化に対応して、秋と冬を統合することとした。

協賛広告縮小の動きがあり（平成15年度は、別件により対応した）対策を検討中である。

②平成15年度一般会計・特別会計決算案、ならびに平成16年度一般会計・特別会計予算案に関する件
事務局より資料に基づき詳細に説明を行い、慎重審議の結果、両案とも承認された。

③JGA個人会員入会審査の件

事務局より、11月26日現在、入会申請のあった6名について、これを承認し、財日本ゴルフ協会に名簿を提出したい旨報告し、承認された。例年230名程度の申請だが、今年度は282名となった。関東ゴルフ連盟経由入会者が、全体人数2,096名の約半分を占めたとの報告があった。

④その他

来年度より暫定女子コース・レートの査定を受けていない俱乐部に対して、女子参考値レートを査定し、コース・レーティング一覧表にて発表

することとした。また、その際のティの数について意見交換がなされた。

全議事終了後、吉田理事長14時3分閉会を宣した。

平成15年11月26日

議事録確認署名者

議長 吉田 友明 (印)

署名者 岩宮 浩 (印)

署名者 伊藤 淳 (印)

平成15年度 第3回 理事会議事録

日 時 平成16年1月21日(水) 正午

場 所 ルビーホール 凤凰の間

出席者 吉田理事長、牛込、小宮山、

普勝各副理事長

赤羽、岩宮、大原、高橋、田

中、塚原、南学、野口、萩原、

広中、森川、渡邊各常務理事

相澤、伊藤(淳)、樋川、井

上、遠藤、太田、大鷲、鬼沢、

川田、小坂、志村、下条、田

村、富田、平岩、平山、福嶋、

福田、前川、牧野、松本、

宮坂、村上各理事

廣瀬監事

吉田理事長、議長を務め開会を宣し、事務局より理事57名中、委任状を含めた51名の出席となり、過半数の出席の為、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として大原憲二常務理事、樋川廣政理事を指名し、順次議題の審

議を行った。

—討議及び決議事項—

①平成15年度一般会計・特別会計決算案、ならびに平成16年度一般会計・特別会計予算案に関する件

議長の指名を受け、事務局より詳細に報告説明を行い、慎重審議の結果、これを承認、通常総会に上程することとした。

②理事補選の件

議長より、現在3県の理事が欠員となっている。規約第14条、第15条及び細則第1条により、該当県よりの候補者推挙を受けて2月の通常総会にて選任することとしたい旨の提案があり、承認された。

千葉県 菅 浦一理事（逝去）
神奈川県 吉岡 文平理事（退任）
静岡県 西原 恢理事（退任）

③JGA個人会員入会審査の件

議長より、1月21日現在、入会申請のあった24名について、これを承認し、財日本ゴルフ協会に名簿を提出したい旨の提案があり、承認された。

④第56回通常総会に関する件

平成16年2月20日午前10時より、ホテルニューオータニにて開催し、下記議案を上程することを承認した。

第1号議案

平成15年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件

第2号議案

平成16年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件

第3号議案

理事補選の件

報告事項

財日本ゴルフ協会、平成15年度事業報告、および決算報告、ならびに平成16年度事業計画、および予算に関する件

⑤その他

(1)後援競技の件

1月21日現在、後援申請のある下記競技の後援を承認した。

「2004年度(第14回)日本シニアオープンゴルフ選手権競技」

主 催：財日本ゴルフ協会

期 日：平成16年10月28日～31日

嵐山カントリークラブ

財日本ゴルフ協会安西会長より、関東ゴルフ連盟吉田理事長宛の正式書状により後援要請を受けたもの。（財日本ゴルフ協会は、2004年度より、主催する3オーブン競技について、開催地の地区連盟等に対し、後援を依頼し、地域に密着したナショナルオーブンを目指す）

「2004神奈川県アマチュアゴルフ選手権大会」

主 催：神奈川県ゴルフ協会

(男子の部)

予 選：平成16年4月1日～4月28日

長竹カントリークラブ

他9会場

準決勝：平成16年5月17日～5月24日
レインボーカントリー俱乐部

他3会場

決 勝：平成16年6月14日
相模原ゴルフクラブ

東西コース

(女子の部)
予 選：平成16年4月5日
芙蓉カントリー俱乐部

準決勝：平成16年5月10日
相模カンツリー俱乐部

決 勝：平成16年6月7日
相模カンツリー俱乐部

シニア

(男子の部)
55歳以上：平成16年5月28日
清川カントリークラブ

65歳以上：平成16年5月6日
磯子カンツリークラブ

70歳以上：平成16年6月7日
相模カンツリー俱乐部

(女子の部)
50歳以上：平成16年5月6日
磯子カンツリークラブ

ジュニア (中学・高校 男女)
平成16年4月2日
相模原ゴルフクラブ

西コース

「第23回茨城県社会人アマチュアゴルフ選手権大会」

主 催：茨城新聞社

予 選：平成16年3月19日～3月25日
サンマリーナカントリークラブ

決 勝：平成16年5月18日～19日
他3会場

水戸グリーンカントリークラブ

山方コース

「第4回茨城県社会人女子アマチュアゴルフ選手権大会」

主 催：茨城新聞社

期 日：平成16年5月11日
水戸グリーンカントリークラブ

山方コース

「第1回茨城県社会人シニアアマチュアゴルフ選手権大会」(新設)

主 催：茨城新聞社

期 日：平成16年5月13日
水戸グリーンカントリークラブ

山方コース

(2)財日本ゴルフ協会ジュニア育成活動の件

「ジュニアゴルファー育成協議会」

の新設と、今後の活動についての報告がなされた。

全議事終了後、吉田議長13時45分閉会を宣した。

平成16年1月21日

議事録確認署名者

議 長 吉田 友明 (印)

署名者 大原 慎二 (印)

署名者 樋川 廣政 (印)

平成16年度 第1回 理事会議事録

日 時 平成16年2月20日(金)

午前11時30分

場 所 ホテルニューオータニ 翔の間

出席者 吉田理事長、牛込、小宮山、

普勝各副理事長

赤羽、岩宮、大原、斎藤、様

総会・理事会・分科委員会

総会・理事会・分科委員会

崎、高橋、田中、塚原、南学、
野口、広中、森川、
渡邊各常務理事
安藤、福川、井上、太田、大
鷲、川田、佐藤、塚本、富田、
人見、平岩、平山、福田、松
本、宮坂、村上各理事、
近藤、廣瀬両監事

吉田理事長、議長を務め開会を宣し、
事務局より理事59名中、委任状を含めた46名の出席となり、過半数の出席の為、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、篠_勝宏常務理事、太田哲男理事を指名し、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①平成16年度分科委員長選任の件

選任方法については、理事長一任となり、次記の諸氏が指名され承認された。

●総務委員会

小宮山義孝

●カード部会

高橋正孝

●競技委員会

松本富夫

●規則部会

野口正三

●コース選定部会

松本富夫

●ハンディキャップ委員会

富田浩安

●コース・レート委員会

大原憲二

●月例競技委員会

中野弘治

●ジュニア育成委員会

大鷲俊朗

●広報委員会

高橋正孝

●税対策委員会

伊室一義

●グリーン委員会

広中三男

●体協部会体協委員会

斎藤文志郎

事業協会

(男子の部)

予 選: 平成16年4月13日～5月5日

新玉村ゴルフ場

他30会場

決 勝: A地区

平成16年5月19日～20日

イーストウッドカントリー倶楽部

B地区

平成16年5月19日～20日

富士見高原ゴルフコース

(女子の部)

予 選: 平成16年4月14日～5月5日

新玉村ゴルフ場

他24会場

決 勝: 平成16年5月24日

紫カントリークラブ

あやめコース

②平成16年度分科委員選任の件

選任方法については、理事長より理事会終了後に開催される委員長会議に一任されたき旨の提案がなされ、承認された。

③財日本ゴルフ協会、平成16年度分科委員候補選任の件

選任方法については、理事長より、正副理事長に一任されたき旨の提案があり、承認された。

④財日本ゴルフ協会、個人会員入会審査の件

2月20日現在、申請のあった16名について、これを承認し、財日本ゴルフ協会に名簿を提出したい旨の提案があり、承認された。

⑤後援競技の件

2月20日現在、後援申請のある次記4競技の後援を承認した。
「平成16年東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技大会」
主 催: 財日本パブリックゴルフ場

「日刊アマゴルフ2004全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権（第31回東日本大会）」

主 催: 日刊スポーツ新聞社

（男子関東大会）

予 選: 平成16年6月14日

鎌ヶ谷カントリークラブ

他11会場

決 勝: 平成16年9月5日～9月6日

大利根カントリークラブ

（女子関東大会）

予 選: 平成16年6月14日

鎌ヶ谷カントリークラブ

他2会場

全議事終了後、吉田理事長12時40分閉会を宣した。

平成16年2月20日

議事録確認署名者

議 長 吉田 友明 (印)

署名者 篠崎 勝宏 (印)

署名者 太田 哲男 (印)

平成16年度 第1回 競技委員会議事録

日 時 2月27日（金）午後1時

場 所 ダイヤモンドホテル・サファイア

出席者 牛込副理事長

松本委員長

福川、山崎各副委員長

浅野、安藤、岩田、魚本、小澤、木村、国吉、熊澤、小室、近藤、柴田、須崎、鈴木、関

根、高頭、高橋、竹下、田中、

泊、南郷、野口、橋本、馬場、

原田、廣瀬、船越、発知、本

田、松井（謙）、松井（義）、

三浦、守山、矢島、山崎、山

田、山部、吉野、渡辺各委員

赤羽、小林（祺）、佐藤、小

野、前田、勝亦各都県アマチ

ュアゴルフ団体委員

●野口正三（桜ヶ丘）

●本田道生（相模原）

●松井謙二（我孫子）

●小野 進（茨城県）

③副委員長選任について

松本委員長より、副委員長として次記の諸氏が指名委嘱された。

●稻川廣政（春日居）

●山崎滋男（鷹之台）

定刻、松本委員長、開会を宣し、下記議題を順次上程議事に入った。

①本年度活動方針

「昨年は委員長就任時に理事長より指示のあった競技運営の合理化およびスリム化を行った。委員諸氏には色々とご不便もおかけしたが、御礼申し上げたい。今年も方針は変わらず、出場選手ができるだけ気持ちよくプレーができるようサポートするのが、競技委員の役割であると考える。今年も昨年同様の体制であることは変わらないが、コースの状況によっては、若干名の増員をし、万全の体制で運営に当たりたい」。

●從来「実施規定」としていた規定はJGAの決定に従い、「競技規定」と名称変更され、全国で統一されることになった。

●関東アマチュア予選は毎年の参加選手増を踏まえ、会場を1会場追加し、全7ブロックで開催されることになった。

●個人競技は選手の毎年の要望に従え、出場ブロックの希望を一部受けけることとした。1会場への集中、各会場間のレベル差が懸念されることから、全員とはしない。とりあえず前期競技はこの方法で行ない、後期競技以降、再度検討していくこととした。

●指定練習日の1ラウンド限定、2球打ちの禁止事項を削除することとした。

●俱楽部対抗については、下記の要領にて実施することにした。

①俱楽部対抗のチーム構成について

総会・理事会・分科委員会

て、予選、決勝を通じ、Aクラス3名、Bクラス3名合計6名全員のスコア合計で争われることとなった。

②登録選手については、A、B両クラス共、各7名以内とする。

③選手の変更是、各地区競技日3日前の17時までとする。但し、病気、事故などの事情でやむを得ない場合のみ、理由書添付の上、当該選手スタート時間30分前までに競技委員長の承認を得て、変更可とした。

④登録選手は他俱楽部、他地区連盟加盟俱楽部選手として登録することはできないとし、違反した場合は次年度の選手登録は認めないこととした。

⑤スタート組合せについて、組合せ番号は参加申込到着順にすることとした。

⑤ローカルルール原案、競技管理基準について

鈴木委員より、配布資料を基に、今年度版のローカルルール原案、競技管理基準について説明がなされ、全委員確認をした。

ローカルルール原案の昨年からの変更点は下記のとおり

●『ゴルフ規則○ページ参照』のページ数

(規則書改訂の為)

●競技の条件

①キャディの項目の追加

(規則6-4の変更と注の新設に伴い)

②プレーの中止と再開
(規則6-8の文言変更に伴い)

●ローカルルール
『グリーンに近接する動かせない障害物』
(付属規則I (B) 5の変更に伴い)

⑥各競技担当委員長、副委員長、及び委員選任について

松本委員長より、各会場の担当委員を決めるにあたり、例年、前期競技は過密スケジュールのため、なるべく協力をし合って決定してほしい旨、女子競技については、できるだけ女子委員中心で運営を行う旨の指示がなされ、全委員確認をした。

また、4/13(火)に予選競技委員長会議を開催し、注意事項など事前の最終打ち合わせを行うことが発表され、全委員確認をした。

その後、配布資料に基づき担当委員長、副委員長、委員の決定、打ち合わせ日の決定がなされ、確認をした。

平成16年度 第1回 ハンディキャップ委員会議事録

日 時 平成16年3月17日(水)午後1時

場 所 ダイヤモンドホテル205

出席者 牛込副理事長

富田委員長

大原、蛭田、福田各副委員長

稲川、射残、大竹、勝又、加藤、亀田、木村(玄)、木村(敏)、許斐、鈴木(淳)、鈴

木(康)、丹後、遼塚、戸田、中川、新関、早川、深谷、福喜多、堀越、村松、八木、横田、吉井、吉川、吉田、脇各委員

討議および決議事項

定刻、富田委員長、開会を宣し、下記議題を順次上程議事に入った。

①本年度活動方針について

富田委員長より、次記今年度活動方針が述べられた。
「課題とされているJ-sysの普及について、昨年JGAのハンディキャップ委員会で数回に渡る討議がなされた。その中で、JGAハンディキャップ規定の改正案が出され、2/26に開催されたJGAの常任理事会で正式に決定がなされた。この規定を基に、新ハンディキャップ規定とJ-sysを軌道に乗せるべく、努力をしていきたいと思う。委員諸氏の更なるご協力をお願いしたい」。

②委員選任、副委員長選任について

市橋事務局長より、去る2/20の関東ゴルフ連盟通常総会後に開催された委員長会議において委員が選任されたことの説明がなされ、新任委員ならびに全委員の紹介がなされた。

新任委員

- 木村敏之(嵐山)
- 丹後 功(江戸崎)
- 都県アマチュアゴルフ団体新任委員
- 小林明子(長野県)
- 西野ともみ(茨城県)

引き続いて富田委員長より、副委員長として次記の諸氏が指名委嘱された。

- 大原慎二(霞ヶ関)
- 蛭田信宏(大利根)
- 福田 豊(浜松シーサイド)

③JGAハンディキャップ委員会報告について

富田委員長より、JGAハンディキャップ規定の改正について説明がなされた。改正の目的は、①JGAハンディキャップを全てのゴルファーにとって取得しやすいものにし、普及すること。②公正かつ均衡のとれたハンディキャップを普及することの2点で、これを基本とした大幅な見直しを行った。主な改正点は次記のとおりである。

●平均的なゴルファーの年間プレー回数の減少化に対応し、査定に必要なスコアカードの枚数を現行の20枚中10枚から、10枚中の5枚に変更し、暫定ハンディキャップをなくした。

●上記採用枚数の減少に関連し、スコアカードの有効期限を現行の3年から2年にする。

●ハンディキャップの数値を現行の整数から、小数点第1位までとする。(小数点以下第2位を四捨五入)

●初めてハンディキャップを取得するプレーヤーの意欲向上策として、ハンディキャップの上限を現行の40から、50.0に変更する。

●規定の厳格化を図る意味から、故

意にスコアカードを提出していないことが判明した場合、失効することを明記した。

以上の新規定、また女子ハンディキャップに基づいたJ-sysの再構築を、今後JGA、KGAで検討していくこととなった。またJGAでは全国にいるノンクラブメンバーも対象にした普及活動を展開していくことの報告がなされ、全委員確認をした。

④その他

JGAハンディキャップ新規定についての予想される問題、疑問、また今後の展開について、活発な質疑応答がなされた。各委員より、各俱楽部の立場としての質問が数多く寄せられた。

平成16年度 第1回 コース・レート委員会議事録

日 時 平成16年3月5日(金)午後1時

場 所 ダイヤモンドホテル・檜の間

出席者 大原委員長

岡田、松岡各副委員長

生田、大久保、王月、岡田、荻島、金子、神津、小林、佐久間、寺村、中川、中野、中部、南雲、日暮、平本、森、矢島、渡辺各委員

討議および決議事項

定刻、大原委員長、開会を宣し、下記議題を順次上程議事に入った。

①今年度活動方針について
大原委員長より、今年度活動方針が述べられた。

「今年度は15年の再査定、またそれに伴う女子コース・レーティングの決定が活動の中心になると思われる。15年の再査定は査定当日の人数が限られているため、両副委員長と特定の委員の方に負担がかからないよう、なるべく全委員が平均して査定に出席できるようにしたい。また今年度から新任委員として5名の女子委員を増員した。委員諸氏にはできるだけ多くの査定に出席いただき、研鑽をしていただきたい」。

②新任委員、副委員長選任について
市橋事務局長より、去る2/20の関東ゴルフ連盟通常総会後に開催された委員長会議において委員が選任されたことの説明がなされ、新任委員の紹介がなされた。

新任委員

- 神津成美(下野)
- 中部克子(東京)
- 南雲真理(岡部チサン)
- 矢島智都子(霞ヶ関)
- 渡辺恵子(高根)
- 岡田光正(嵐山)
- 松岡和哉(東京よみうり)
- また、大原委員長より、退任された前川武英氏の長年のご尽力に対し、謝辞が述べられた。

総会・理事会・分科委員会

総会・理事会・分科委員会

③査定数値決定について

- 女子レート机上査定 東京よみうりカントリークラブ事務局にて再度計算をし、次回委員会にて報告することとした。

④査定スケジュールについて

- 15年再査定
朝霧ジャンボリーゴルフクラブ
4月23日（金）
レインボーカントリー倶楽部
5月21日（金）
高根カントリー倶楽部
5月25日（火）
- 新規・改造査定
レイクウッドゴルフクラブサンパーク
明野コース
4月1日（木）
相模原ゴルフクラブ
5月7日（金）
鹿島の杜カントリー倶楽部
6月1日（火）

⑤その他

- 大原委員長よりJGAハンディキャップ委員会の報告がなされた。
JGAではJGAハンディキャップ規定の改正、女子ハンディキャップに対応してJ-sysを再構築し、これを全国に展開することを決定した。
- 岡田副委員長より、女子委員に対して下記事項につき、要請がなされた。また研修会や勉強会を適宜開催していくことを確認した。
- コース・レート査定マニュアルを熟読し、理解すること。

- できるだけ現地査定に出席して研修すること。
- 自分のプレーイングディスタンスを正確に把握すること。

無断欠席1名(男子1名)
出場者数 143名
(男子98名 女子45名)
科罰者 1名 (男子1名)
ミーティング欠席 0名
失格者 1名 (男子1名)
棄権者 0名
次回プレーオフ なし

平成15年度 第8回 月例競技委員会議事録

日 時 平成15年11月7日（金）正午
場 所 KGA会議室
出席者 中野委員長、小室副委員長
岡野、河本、桜井、嶋田、三木各委員、学生連盟委員

—討議及び決議事項—

①10月度月例競技報告及び総括
小室副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「好天に恵まれコースコンディションも良く、かなりの好スコアが出ると期待された。男子は上位5名がアンダーパーでありますまであったが、女子はいまひとつ物足りない感じがした。ただし初参加の高校生が76ストロークで3位に入賞したのは今後にとって大変良い刺激になったと思う。」

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成15年10月30日(木)
コース 千葉カントリークラブ
梅郷コース
エントリー 151名
(男子104名 女子47名)
欠場者数 事前連絡6名
(男子4名、女子2名)
当日連絡1名(男子1名)

②11月度月例競技について
11月度月例競技は茨城ゴルフ倶楽部・西コースにて開催されるが、コースセッティングは平山副委員長に一任することを確認した。またスロープレー防止のためタイムバーを導入することとした。

③その他

(1)無断欠場者について
無断欠場者本人より「開催日を間違えたため無断欠場となってしまった」との報告が事務局にあったが、月例競技参加規程に従い、次回以降7回の出場停止および所属倶楽部理事長宛に警告書を送ることとなった。

(2)高校生および18歳未満の選手のエントリーについて

今月度競技において高校生の初参加者が3名いたが、「高校生および18歳未満の者は学業優先が基本であり、また経済的にまだ自立していない」という考えにより初参加時に必ず親権者の承諾書をもらうこととした。

(3)来年度競技日程について
一部未定の月があるが来年度競技

日程をホームページ上に公開することとした。また、中野委員長より各競技ごとのコースセッティング担当委員が発表された。

平成15年度 第9回 月例競技委員会議事録

日 時 平成15年11月28日（金）
午後3時
場 所 相模カンツリー倶楽部
出席者 中野委員長、小室副委員長
小倉、加藤、河本、小坂、桜井、嶋田、星野、山崎、渡辺各委員

—討議及び決議事項—

①11月度月例競技報告及び総括
小室副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「朝から雨が降り続きコースコンディションは非常に悪かったが、グリーンには水はたまらなかった。ホールショットが離しかったためプレーに非常に時間がかかり（ハーフ約3時間）全選手がホールアウトできるかどうか心配されたが、どうにか終了出来た。選手各自にタイムバーを配布したが雨のため計画通り出来なかつた。」

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成15年11月25日(火)
コース 茨城ゴルフ倶楽部
西コース
エントリー 153名
(男子120名 女子33名)

欠場者数 事前連絡8名
(男子6名、女子2名)
当日連絡1名(男子1名)
無断欠席0名

出場者数 144名
(男子113名 女子31名)
科罰者 1名 (女子1名)
ミーティング欠席 0名
失格者 1名 (男子1名)
棄権者 2名 (男子2名)
次回プレーオフ なし

②12月度月例競技について

12月度月例競技は鷹之台カンツリー倶楽部にて開催されるが、コースセッティングは阪田副委員長に一任することを確認した。またスロープレー防止のためタイムバーを導入することとした。

③その他

(1)打合せのため、委員の開催倶楽部への派遣について
中野委員長より「委員が開催倶楽部へ打合せに行くことがあるが、その際のプレー代及び交通費は委員個人の負担となっている。関東ゴルフ連盟月例競技委員としての公務での出張であるので、費用を関東ゴルフ連盟で負担してもらえないだろうか。」との申し出があった。

これについて、市橋事務局長より以下の通りの見解が示された。「予算に係わることなので即答出来ないが、関係先の了解が取れ次第、実行したい。」

(2)タイムバーについて
11月度の競技でプレーのベースについて「タイムバー」を採用したが、悪天候のため採用によるメリットやデメリットを把握することが出来なかった。そのため12月度の競技でもタイムバーを採用し、その効果を検証することとした。

平成15年度 第10回 月例競技委員会議事録

日 時 平成15年12月19日（金）正午
場 所 関東ゴルフ連盟事務局会議室
出席者 中野委員長
小室、阪田、平山各副委員長
加藤、小坂、桜井、渡辺各委員、学生連盟委員

—討議及び決議事項—

①12月度月例競技報告及び総括
小室副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「絶好の天候に恵まれ、コースコンディションも良く、グリーンも非常に速かったので、かなりの好スコアが期待されたが、優勝スコアは女子が79ストローク、男子が71ストロークと思ったほどの好スコアは出なかった。今回もタイムバーを実施したが、女子はほぼタイムバー通りであったが、男子は最終組のホールアウトが30分遅れであった。大学生および高校生の参加が15人であったが、今後もっと増えることを期待したい。」

総会・理事会・分科委員会

開催日 平成15年12月15日(月)
コース 鷹之台カントリー倶楽部
エントリー 143名
(男子99名 女子44名)
欠場者数 事前連絡7名
(男子3名、女子4名)
当日連絡1名(女子1名)
無断欠席0名
出場者数 135名
(男子96名 女子39名)
科罰者 0名
ミーティング欠席 0名
失格者 1名(男子1名)
棄権者 0名
次回プレーオフ
(女子)1位タイ
露木直子、堀 瑞穂

②1月度月例競技について

1月度月例競技は袖ヶ浦カントリークラブ・袖ヶ浦コースにて開催されるが、コースセッティングは阪田副委員長および渡辺委員に一任することを確認した。

③その他

- (1)平成16年度の委員編成について
中野委員長より、退任される委員、新任委員候補の発表がなされ、全委員これを確認した。
- (2)スタート時間の間隔について
今月度までは7分間隔でスタートしていたが、時間通りにスタートできない(遅れる)場合が多くった。また先月よりタイムバーを実施しているが、その時間と照し合わせてみても7分間隔では無理が

あることがわかった。関東ゴルフ連盟では、競技委員会主催競技は4人組の場合8分間隔でスタートしているが、ほぼ時間通りにスタート出来ているとのことなので、月例競技も来月度より8分間隔でスタートすることとした。

(3)タイムバーについて
11月度競技よりタイムバーを実施してきたが、実施することによって選手にスロープレー防止の意識が生まれているようである。従つて来月以降も継続的にタイムバーを実施していくこととした。

(4)選手のキャンセル待ちについて
今月度の競技では、人数制限により申込者のうち24名が参加出来なかったが、一部の選手より「キャンセル待ちはやっていないのか」との問い合わせがあった。月例委員会としては、キャンセル待ちを実施することにより委員会、選手、開催倶楽部それぞれにメリットがあると判断し、関係先の了解が取れ次第前向きに検討することとした。

平成15年度 第11回月例競技委員会議事録

日時 平成16年1月26日(月)正午
場所 関東ゴルフ連盟事務局会議室
出席者 中野委員長
小室、阪田、平山各副委員長、岡野、加藤、河本、神津、小坂、桜井、山崎、渡辺各委員

— 22 —

学生連盟委員
——討議及び決議事項——

①1月度月例競技報告及び総括

阪田副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。
「天候は晴れであったが、今年1番冷え込みで最高気温が7℃までしか上がりず、寒い一日となった。そのためスコアも全般的に昨年より悪かった。」

エントリー数他は以下のとおり
開催日 平成16年1月16日(金)
コース 袖ヶ浦カントリークラブ
袖ヶ浦コース

エントリー 141名
(男子104名 女子37名)

欠場者数 事前連絡4名
(男子3名、女子1名)

当日連絡0名
無断欠席0名

出場者数 137名
(男子101名 女子36名)

科罰者 0名
ミーティング欠席 0名

失格者 0名
次回プレーオフ
(男子)1位タイ

関沢 誠、亀井 隆

②2月度月例競技について

2月度月例競技は戸塚カントリー倶楽部・西コースにて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、河本委員、および山崎委員に一任することを確認した。

③その他

- (1)平成16年度の委員編成について中野委員長より、退任される委員の発表がなされ、全委員これを確認した。
また、数名の増員を予定していることも発表された。
- (2)ポイント入りスタート表について
1月度競技において、ポイント入りスタート表を試験的に採用したところ、選手および競技委員から非常に好評であった。よって今後もポイント順の組合せとなる1月度から3月度のスタート表はポイント入りスタート表を採用することとした。
- (3)選手兼任競技委員のスタート時間について
ポイント順の組合せとなる1月度から3月度は、選手兼任競技委員のスタート時間が不規則になり、今月度競技において各分担の競技委員が不足する等の不具合が発生した。そのため2月度競技より競技委員はポイントに関係なく從来通り第1組または最終組にてスタートすることとした。
- (4)選手のキャンセル待ちについて
前回の委員会において、キャンセル待ちを前向きに検討することになったが、関係先の了解が取れたことにともない平成16年度4月度競技より実施することになった。事務局より「キャンセル待ちについての規定」が提案され全委員これを了承した(詳細は別紙の通り)。

平成16年度 第1回月例競技委員会議事録

日時 平成16年2月26日(木)正午
場所 関東ゴルフ連盟事務局会議室
出席者 中野委員長
小室、阪田、平山各副委員長
神津、小坂、桜井、額賀、渡辺各委員、学生連盟委員

——討議及び決議事項——

①2月度月例競技報告及び総括

平山副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「女子選手にとって距離の長いコースセッティング(6,430yards パー

72)であったため上位に来たのは若い選手とベテランの実力者であった。グリーンのコンディションは良好であったが、見た目よりコンパクションが硬めであったためアプローチやバッティングに苦労した選手が多いようであった(バッティングの上手な選手が好スコアを出していた)。今回もタイムバーを実施したが、まだ選手全体にプレーの進行に対する意識が浸透していないようである。」

エントリー数他は以下のとおり
開催日 平成16年2月10日(火)
コース 戸塚カントリー倶楽部
西コース

エントリー 137名
(男子91名 女子46名)

欠場者数 事前連絡4名
(男子2名、女子2名)

当日連絡1名(女子1名)
無断欠席0名

出場者数 132名
(男子89名 女子43名)

科罰者 0名
ミーティング欠席 0名
失格者 1名(男子1名)
棄権者 0名
次回プレーオフ なし

②3月度月例競技について
3月度月例競技は我孫子ゴルフ倶楽部にて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、小室副委員長、および神津委員に一任することを確認した。

③その他
(1)今年度の活動方針について
中野委員長より今年度の活動方針が発表され、全委員これを確認した。主な内容は以下の通り。
(2)昨年度をもって岡野委員が退任されたが、今年度は委員の増員はせず現行の19名(男子15名、女子4名)で活動する。
(3)選手の技術の向上を目指す。そのため開催コースも難度が高く、選手に技量を問うようなコースを選定する。

(4)エチケット・マナーを徹底する。今年度のルール改正により強化された点でもあるので、委員が積極的に注意を与える。
(5)スロープレーを撲滅する。恒久的な課題であるが、今年度も継続して行う。

— 23 —

総会・理事会・分科委員会

総会・理事会・分科委員会

平成16年度 第2回 月例競技委員会議事録

日 時 平成16年3月29日（月）正午
場 所 関東ゴルフ連盟事務局会議室
出席者 中野委員長
小室、阪田両副委員長
加藤、河本、神津、小坂、桜井、渡辺各委員、学生連盟委員

—討議及び決議事項—

①3月度月例競技報告及び総括

渡辺委員より、下記の報告及び総括がなされた。

「風もなく、絶好のコンディションで、グリーンもよく手入れされていましたが、一部整備中の箇所もあり、パッティングに運、不運があったようであった。コース全長が女子には比較的長く（6,280yards）前月同様好スコアは出なかった。男子には距離も手ごろで、ロングヒッターより正確なショットを打てる選手が上位にきていたようである。前月より各選手のプレーの進行が早くなったようであった。」

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成16年3月15日（月）

コース 我孫子ゴルフ俱楽部

エントリー 152名

（男子92名 女子60名）

欠場者数 事前連絡2名

（男子1名、女子1名）

当日連絡1名（男子1名）

無断欠席0名

出場者数 149名

（男子90名 女子59名）

科 評 者 0名

ミーティング次席 1名（女子1名）

失 格 者 0名

棄 権 者 0名

次回プレーオフ

（男子）69ストローク

亀井美博、金子光規

実施してきたが、4月度競技より参加人数の定員が増えるため（160名）正確なタイムバーを実施することが難しくなることが予想される。従って4月度からは選手兼任の競技委員がいる組にのみ実施することとし、他の組は従来どおり前の組との間隔が15分以上空いた場合にペナルティを科すこととした。

②4月度月例競技について

4月度月例競技は相模原ゴルフクラブ・東コースにて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、河本委員、および小坂委員に一任することを確認した。

③その他

（1）関東女子決勝、関東アマ決勝のシード選手及び年間最高得点者の決定について3月度競技をもって平成15年度月例競技がすべて終了し、その結果総合ポイント上位者が関東アマ決勝および関東女子決勝のシード選手として確定した。

男子は、57ポイント

30位までの30名

女子は、63ポイント

9位までの10名

となり、全委員これを確認した。

また、年間最高得点者は

男子：亀井 隆（唐沢）

139ポイント

女子：関根奈穂美（セントラル）

99ポイント

であった。

（2）タイムバーについて

15年度11月例よりタイムバーを

平成16年度 第1回 ジュニア育成委員会議事録

日 時 平成16年3月3日（水）午後2時

場 所 ダイヤモンドホテル プラザビル205

出席者 大鷲委員長

荻原、笠川、川島、嶋田、中島、藤園各副委員長

市川、稻富、岩田、大西、大野、神谷、唐木、栗原、琴河、小林、小山、

佐藤（伊）、佐藤（稔）、佐野、杉山（文）、田村、東福寺、富永、林、平田、

廣瀬（浩）、堀田、矢島、山岡、山崎、吉岡、和久各委員

瀧谷、小野、吉澤各都県アマ

チユア団体委員

—討議及び決議事項—

討議に先立ち、大鷲委員長より開会を宣し、順次議題審議を行った。

①平成16年度活動方針

大鷲委員長より次記の方針が示され

た。

「本年度も競技、スクール、大会を中心活動を継続する。技術面の充実とあわせ正しいゴルフを教え、すばらしいスポーツであることを伝える場としたい。

現在、JGAジュニア会員は全国で約7,300名、関東は約3,000名で少しづつであるが増加傾向にある。低迷するゴルフ界を活性化するためにも、ジュニア育成は重要課題と考え、この7,300名のジュニアを7万、70万名につながるよう底辺拡大に努めたい。今年度は総勢100名の委員会となつた。委員諸氏にはKGAでの活動に準じて所属俱楽部や各都県に於ても「ジュニア育成委員会」「スクール開催」「コースの一部開放」など、より良いゴルフ環境作りのために協力、ご尽力を賜りたい」。

②副委員長、委員選任の件

大鷲委員長より、2月20日の総会後開催された理事会、委員長会議において副委員長と委員が選任されたことの報告があり、全員これを確認した。

●副委員長（留任）

荻原知昭（早月・佐野）、笠川喜久男（鷹之台）、川島英雄（高坂）、嶋田憲人（青梅）、中島廣行（伊豆にらやま）、藤園賢雄（京）

●新任委員

大西幸四郎（筑波）、佐野禎一（朝霧ジャンボリー）、富永勝（絶武）、平田悦子（カレドニアン）、吉田文雄（早月・鹿沼）、米澤英樹（大

利根）

●新任都県アマチュア団体委員
山梨県 辻雄治・蘿原紀、
栃木県 長谷川弘・吉江誠也
また、各副委員長からジュニア育成への抱負と活動への協力依頼が述べられた。

③班編成について

大鷲委員長より次記の方針が示され承認された。
「昨年同様に居住地を中心とした3班制とするが、人数バランスを考えて所属俱楽部で班分けをする場合もあることをご承認いただきたい」。

また、各班の統括副委員長は次記のとおり。
1班 笠川、藤園副委員長
栃木県、茨城県、千葉県

2班 川島、荻原副委員長
新潟県、長野県、群馬県、埼玉県、東京都

3班 嶋田、中島副委員長
山梨県、神奈川県、静岡県

④春季ジュニア・ゴルフスクールについて

大鷲委員長より次記の方針が示された。
「別紙資料の日程と昨年同様の13会場で開催することとし、後日実施規定一式を各委員に通知したい。また、昨年は、クラブ本数制限の効果があり具合の悪くなる者が殆どいなかつたが、今年も健康面に十分留意して活動を行なっていただきたい」。

⑤夏季ジュニア・ゴルフスクールについて

大鷲委員長より次記の方針が示された。
「別紙資料の日程と昨年同様の13会場で開催することとし、後日実施規定一式を各委員に通知したい。また、昨年は、クラブ本数制限の効果があり具合の悪くなる者が殆どいなかつたが、今年も健康面に十分留意して活動を行なっていただきたい」。

⑥ジュニアゴルフ大会について

大鷲委員長より次記の方針が示された。
「昨年同様2会場で開催することとし

総会・理事会・分科委員会

た。今年度「若洲ゴルフリンクス」の大会は第10回を迎えるが、第1回の参加者は50名弱でスタートしたが、ここ10年の間に4倍の200名を超える申し込みとなった。

4年前から1会場増やし「朝霧ジャンボリーゴルフクラブ」で開催している。

小学生のジュニア会員が増加しており、大会参加者も制限している状況なので今後については検討したい。大会内容は、競技形式で行なうがホールやスコアカードの書き方等について教育的指導を中心に行ないたい。また親権者1名をスコアラーとして同行することを確認した。

⑦関東ジュニア選手権予選、決勝について

別紙の日程で、予選6会場、決勝1会場で開催することを確認した。

新予選会場として、男子12歳~14歳の部は「紫カントリークラブ」で開催する。

また、大鷲委員長より、毎年、夏は過密スケジュールで指定練習日も含め予選、決勝と他競技日程が重複している場合があるので、全委員に班別担当会場への出席協力の依頼がなされた。

⑧その他

(1)ドレスコードについて

毎年、ジュニアだけでなく親権者等のドレスコードとマナーが問題となっている。

ドレスコードについては時代の流

れもあるが、各開催俱楽部の決定している内容と高ゴ連の服装規定を考慮し正副委員長会議で検討することとした。

(2)ジュニアゴルファー育成協議会について
大鷲委員長より次記の報告が示された。

「JGAを中心に、ゴルフ10団体でジュニアゴルファー育成協議会が設立され、ゴルフを知らない子供たちにも楽しく体験できる環境が整った。ジュニア育成には「ゴルフライフコンダクター(GLC)」認定制度を設けて活動する。原則として60歳以上のゴルファーボランティアが対象となるが、将来的にはKGAジュニア育成委員諸氏にもご協力を賜りたい」。

針が述べられた。

(1)インターネットホームページ
開始時より競技関連を中心とした内容としている。競技規定、申込書もプリントアウトができる、エンターテイメントや組み合わせ表など速報も充実させた。利用者に好評でアクセス数が増加し定着してきた。今年度も内容を検討し、さらに別の角度からも増設していくたい。
(2)「KGAニュース」機関誌の編集発行
広報委員会の中心的な活動であり、年3回発行し取材編集をすることとした。
前年と同じ形式とすることを確認した。

③副委員長、委員選任の件

高橋委員長より、2月20日の通常総会後、理事会、委員長会議の開催において、副委員長、分科委員が選任されたことの報告があり、これを全員確認した。

副委員長 伊室 一義(留任)

退任委員 吉川 英明

新任委員 なし

④KGAニュースNo. 85春号 企画案

(1)総会

塙田委員の取材による平成16年度の活動方針を掲載する

(2)委員会活動インタビュー
規則部会~2004年規則改訂について 野口規則部会長より
Hdcp委員会~JGAHdcp規定改正

—討議及び決議事項—

高橋委員長会を宣し、順次議題審議を行った。

⑤平成16年度活動方針

高橋委員長より次記の事項につき方

総会・理事会・分科委員会

についての解説とポイント 富田

委員長より

ジュニア育成委員会~日本ジュニ

アゴルファー育成協議会発足 大

鷲委員長より

(3)KGA春季ジュニア・ゴルフスクー

ル 千葉カントリークラブ

川間コース 親子スクール

(4)総会、理事会、分科委員会議事録

5月例成績表 お知らせ

⑥エチケットポスターの件

標語については委員会で検討しJGAと重ならない内容とすることとした。



月例競技成績表

[平成15年度11月月例] 平成15年11月25日(火) 茨城ゴルフ俱楽部 西コース

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 樂 部
1	73	豊島 豊	東 千葉	
2	74	亀井 隆	唐 沢	
3	75	宮 辰夫	習 志野	
4	76	神戸 誠	太 田 双葉	
5	77	角田 充弘	東 名	
5	77	額賀 義朗	船 橋	
5	77	竹原 洋行	東 名	
5	77	中島 正春	韋月・佐野	

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 樂 部
1	79	神津 成美	下 野	
2	80	佐藤 里菜	ロイヤルスター	
3	81	岡橋 早里	オークヒルズ	
3	81	関根奈穂美	セントラル	
3	81	川口文郁恵	秦 野	

[平成15年度12月月例] 平成15年12月15日(月) 鷹之台カンツリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 樂 部
1	71	中野 正義	霞ヶ浦出島	
2	73	水上 晃男	鶴 舞	
2	73	角田 充弘	東 名	
2	73	澤田 信弘	東京五日市	
2	73	佐藤 圭介	ノースショア	
2	73	高安 信行	セントラル	

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 樂 部
1	79	露木 直子	東名厚木	
2	79	堀 瑞穂	三島スプリングス	
3	80	青木 英子	千 葉	
3	80	林 佳世子	ロイヤルスター	
3	80	篠塚 美幸	富 里	

※優勝はプレーOFFによる

[平成15年度1月月例] 平成16年1月16日(金) 袖ヶ浦カンツリークラブ 袖ヶ浦コース

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 樂 部
1	71	閑沢 誠	ツインレイクス	
1	71	亀井 隆	唐 沢	
3	72	杵糠 謙二	ノースショア	
3	72	亀井 美博	ノースショア	
5	73	水上 晃男	鶴 舞	
5	73	竹原 洋行	東 名	

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 樂 部
1	75	南雲 真理	岡部チサン	
2	78	露木 直子	東名厚木	
3	80	篠塚 美幸	富 里	

月例競技成績表

〔平成15年度2月月例〕 平成16年2月10日(火) 戸塚カントリー倶楽部 西コース

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	71	室野 歩	東 千葉	
2	72	石井 保行	清 川	
3	73	松村 道央	鹿 沼 7 2	
4	74	風間 智行	小田原・松田	
5	75	和田 博	東京五日市	
5	75	宮本 清	小 川	
5	75	谷口 英樹	セベ・パルステロス	

女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	78	佐藤 里菜	ロイヤルスター	
2	80	坂本 真菜	境 川	
2	80	川味 千枝	愛 鷹	
2	80	林 佳世子	ロイヤルスター	

〔平成15年度3月月例〕 平成16年3月15日(月) 我孫子ゴルフ倶楽部

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	69	金子 光規	レインボー	
2	69	亀井 美博	ノースショア	
3	70	千年原一仁	京	
4	71	阪田 哲男	袖ヶ浦	
4	71	角田 浩	那須小川	

女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	78	篠塚 美幸	富 里	
2	79	関根奈穂美	セントラル	
2	79	山本美恵子	新 千葉	

※優勝はプレーオフによる

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。(4月26日現在)

理事長
■イーストヒルゴルフクラブ
(新)坂井 照一 (旧)中村 正秀
■鳥山城カントリークラブ
(新)加藤 楓一 (旧)松林 宗惠
■日光カントリー倶楽部
(新)久野 益雄 (旧)楠本陽一郎
■相模カントリー倶楽部
(新)西村 正雄 (旧)近藤 久男

倶楽部代表者
■茶臼山ゴルフ倶楽部
(新)井上 幸久 (旧)川田 太三
■鳥山城カントリークラブ
(新)加藤 楓一／井上 修
(旧)田村 啓一
■鬼怒川カントリークラブ
(旧)五味 豊二
■日光カントリー倶楽部
(新)久野 益雄 (旧)楠本陽一郎
■龍ヶ崎カントリー倶楽部
(新)酒井 健三 (旧)砂金 俊夫
■高坂カントリークラブ
(新)三澤 正勝 (旧)土田 純久
■紫カントリークラブ
(新)高梨 貞介
■相模カントリー倶楽部
(新)西村 正雄 (旧)近藤 久男

支配人
■イーストヒルゴルフクラブ

(新)高橋 信
■日本海カントリークラブ
(新)森 英爾 (旧)佐々木 徹
■鳥山城カントリークラブ
(新)増嶋 篤 (旧)田村 良男
■大利根カントリークラブ
(新)和栗 安広 (旧)飯田 好一
■金乃台カントリークラブ
(新)大塚 英一 (旧)門本 賢
■美浦ゴルフ倶楽部
(新)鍛田 英之 (旧)伊藤 悅雄
■木更津ゴルフクラブ
(新)渡辺 晃(代行) (旧)一前 悅郎
■成田ゴルフ倶楽部
(訂正)木暮 賢一
■イーストヒルゴルフクラブ
(新) 〒959-2221
新潟県阿賀野市保田5107-7
■天城にっかつゴルフ倶楽部
(新) 〒410-3217
静岡県伊豆市大平柿木1190-1
■王造ゴルフ倶楽部
0299-55-3139
■カントリークラブグリーンパレイ
(新) 〒102-0093

千代田区平河町2-16-15
北野アームス304
TEL03-3288-0678
FAX03-3288-7888
会社名
■桂ヶ丘カントリークラブ
(新)桂ヶ丘開発㈱
体協会員
■神奈川県ゴルフ協会
住所変更
(新) 〒231-8445
(新) 渡辺 晃(代行) (旧) 一前 悅郎
横浜市中区太田町2-23
横浜メディア・ビジネスセンター5F
TEL045-680-5621
FAX045-680-5622
■板木県ゴルフ連盟
(新) 〒320-0055
宇都宮市下戸祭2-2-6
糸井店舗2F
(TEL、FAX変更無し)
■東京都ゴルフ連盟
(新) 〒3262-9466
TEL03-3262-9466
FAX03-3262-9475
退会
■朝霧カントリークラブ

東京事務所

平成16年5月1日発行 KGA ニュース No.85
発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル3F TEL.(03) 5275-0391
発行人／吉田 友明 編集／広報委員会